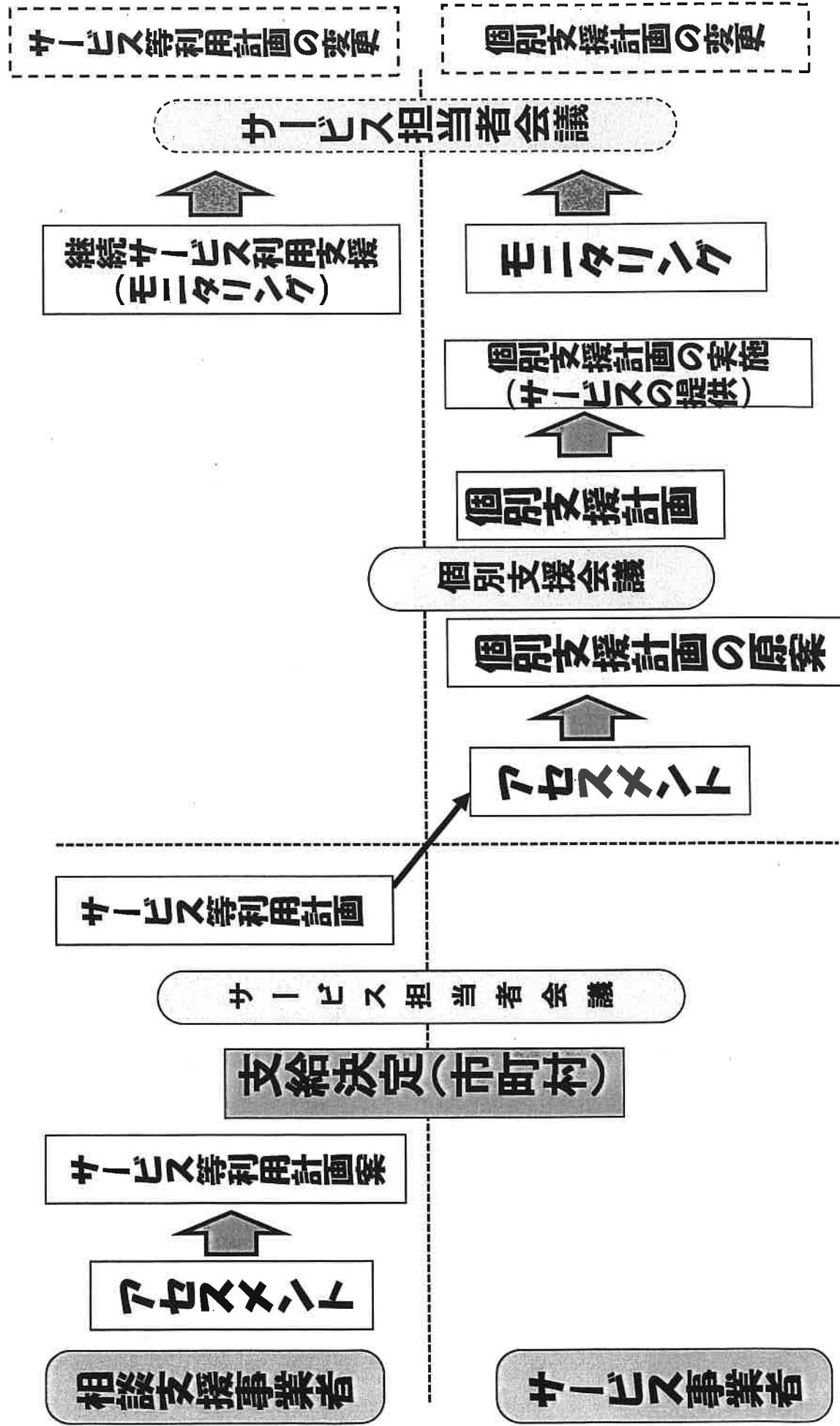


指定特定相談支援事業者（計画作成担当）と障害福祉サービス事業者の関係





サービス等利用計画と個別支援計画の関係性

- ◆サービス等利用計画：総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、相談支援専門員が作成する本人の総合的な支援計画。
- ◆個別支援計画：サービス等利用計画を踏まえ、障がい福祉サービス等事業所が提供するサービスの適切な支援内容等を検討し、作成されるサービス提供の具体的な支援計画。

施設入所時

サービス等利用計画 P161

様式2-1

利用者氏名	○○ ○子	障がい支援(程度)区分	区分5	相談支援事業者名	○○相談支援事業所
障がい福祉サービス受給者証番号	12345678	利用者負担上限額	0円	計画作成担当者	○○ ○○
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			
計画作成日	平成26年1月10日	モニタリング期間(開始年月)	3ヶ月(平成26年4月)	利用者同意署名欄	○○ ○子
<p>希望する生活</p> <p>利用者：母親が死んだので家で暮らすのは無理だと思う。施設で生活したらいいと思う。</p> <p>質問：そんな中で暮らせる生活をさせたっていいですか？</p> <p>本人の訴えを聞くのが原則であるが、生活環境の変化、経験の積み重ねによって変化するので、総合的な聞き取りが必要である。</p>					
<p>総合的援助の方針</p> <p>しばらくの間は障がい者支援施設で安心して生活し、他の利用者や職員とは話をするなどで、母親の死から早く立ち直ってもらうよう心理的サポートをしていく。 落ち着いてきたら、過去の退所者の地域生活の様子を伝えながら①元の家で暮らすことも可能であることを確認していく。</p> <p>長期目標</p> <p>本人と相談しながら、1～2年ほど先をめどに②施設と連絡しながら元の家の元へ暮らしが想定して実現する。</p> <p>短期目標</p> <p>③施設内で本人の能力に応じた介助をあらためて整理し、母親のないこれから的生活のための支援体制を考えていいく。</p> <p>入所施設の個別支援計画とリンクする部分なので、本人の意思、現実性を本人、施設と共に共有しておくことが大切である。</p>					
<p>本人のニーズ</p> <p>②お母ちゃんの代わりにわたしの手助けをしてくれる人がほしい。</p> <p>④年金の年金管理について自分の年金預かりを利用することになりたい。</p>		<p>支援目標</p> <p>①生活の全般を見直しながら、安心して生活できるよう支援していくとともに、いろいろな経験を積んでいく。</p> <p>成年後見制度を利用し支援者(見守人)を確保する。</p>		<p>達成時期</p> <p>1年(平成27年1月)</p>	<p>複数サービス等</p> <p>種類・内容・量(頻度・時間)</p> <p>①障がい者支援施設(施設入所支援、生活介護)</p> <p>提供事業者名(担当者名・電話)</p> <p>施設がどのようなプログラムをやっているか、施設の広報誌、ホームページ等を確認し、具体的にどのような経験ができるか相談支援専門員も理解しておく。</p>
				<p>本人の役割</p> <p>施設のプログラムや外出実績など未経験のものに取り組む。</p>	<p>評価時期</p> <p>3ヶ月</p>
<p>その他の留意事項</p> <p>各生活場面での自分で出来ることを確認してもらおう。</p> <p>④年金の年金管理について自分の年金預かりを利用することになりたい。</p> <p>の聞き取りと面接がないか、と遠慮なく確認を記録する。</p> <p>いの要望について、本音を聞いていく。 早期に相談する。 現状については、本音を聞いていく。 退所時に相談する。</p>					

サービス等利用計画で定めた総合的な支援目標について、個別支援計画ではさらに掘り下げ、サービス事業所における支援提供の具体的な目標・支援内容を記載する。

本人のニーズの実現に向かい、各サービス事業所が同じ方向を向いて支援するためにも、サービス担当者会議において支援目標を共有し、各事業所の役割を明確にすることが重要

個別支援計画 P163

作成年月日：平成26年2月1日

利用者名	○○ ○子
本人(家族)の希望	母親が死んだので家で暮らすのは無理だと思う。施設で生活したらいいと思う。
長期目標(内容・期間等)	施設で新たな生活や介助を経験することや、退所して地域で暮らしている他の利用者の様子を伝えことにより、①元の家の暮らしを含めて、自分にあった生活や支援を考える。(1年)
短期目標(内容・期間等)	①本人の身体能力にあった適切な介助法と介助体制を考える。(6ヶ月) ①外出を含めた日中活動のプログラムを経験する。(6ヶ月)
○支援計画内容	

ニーズ	支援目標	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	サービス提供機関 (提供者・担当者等)	優先順位
②お母ちゃんの代わりにわたしの手助けをしてくれる人がほしい。	今後の生活の相談を定期的にする。	・定期的に現在の生活で満足していることや困っていることを聞く。 ・将来の生活についての希望を聞く。	月2回	・○○相談支援事業所担当者○○ ・サービス管理責任者△△	3
	②母親以外の介助者の介助を受ける経験をする	・③本人の身体能力にあった適切な介助法と介助体制を考えていく。 ・③各生活場面での介助方法を整理する。	6ヶ月	・サービス管理責任者△△ ・理学療法士 ・担当職員□□	1
	健康状態を確認する。	・④入所時健康診断を行い、現在の健康状態を把握する。	3ヶ月	・サービス管理責任者△△ ・看護師 ・協力医療機関○○病院	1
	②外出を含めた日中活動のプログラムを経験する。	・日中のプログラムに参加する。 ・担当職員と外出する。	3ヶ月(月～金) 3ヶ月(1週間に1回程度)	・サービス管理責任者△△ ・担当職員□□	2
③お小遣いは自分で使えるようになりたい。	⑤年金管理の支援を受けながら、職員と相談し、お小遣いを使えるようになる。	・金銭管理サービスの利用 ・施設での生活に慣れてきたら、担当職員と一緒にお小遣い帳をつけてお金を使う。	3ヶ月	・サービス管理責任者△△ ・担当職員□□	2

平成26年2月2日

利用者氏名 ○○ ○子

印

サービス管理責任者 △△ △△

印